

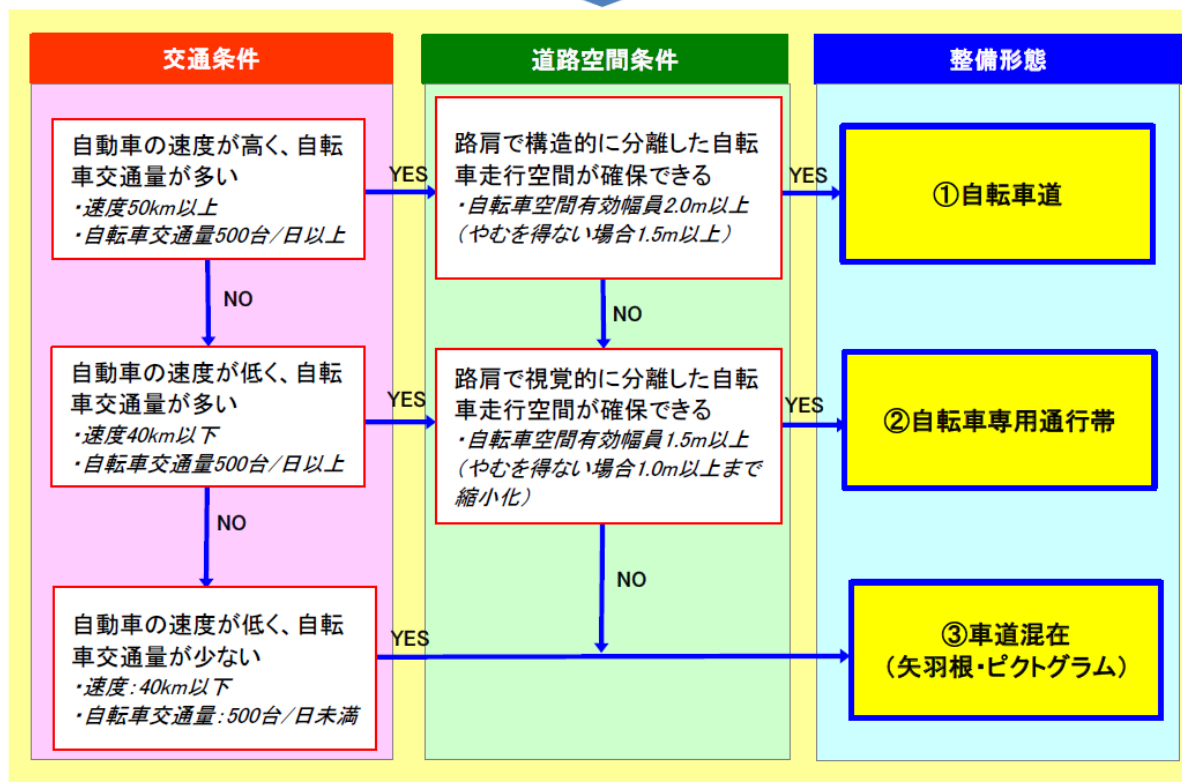
## 6

# 自転車走行空間の整備形態の考え方

1. **自転車は「車両」である**という大原則に基づき、**「車道を通行する自転車」の安全性の向上の観点**から、自動車の速度や交通量を踏まえ、自転車と自動車を分離する必要性について検討します。
2. 整備形態の選定は、「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」(国・警察H28)に準拠し、まず、交通条件として、自動車の規制速度及び自転車交通量により、次に、道路空間条件として、路肩での自転車の走行空間の確保の可能性により、**①「自転車道」、②「自転車専用通行帯」、③「車道混在」**の3区分を選定します。

# 整備形態の選定フロー

●安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(国土交通省道路局、警視庁交通局:H28)



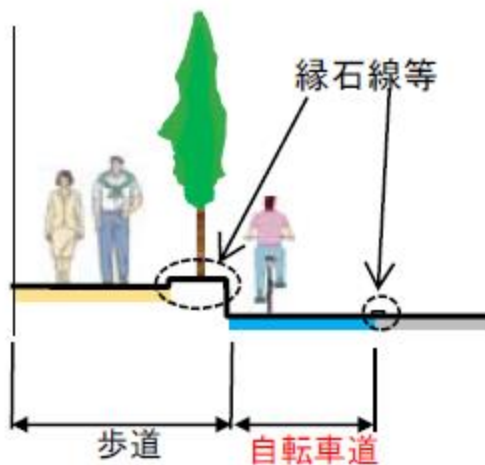
## 《自転車交通社会実験結果》

- 通勤・通学の自転車利用が多い路線では、自転車レーンの設置に関わらず、歩道内通行が多くみられる。
- 大型車を含めた自動車交通量が多い区間では、利用者意向として、車道(路肩)の「左側走行に対し危険を感じる」声が多い。
- 自転車レーンの設置を評価するも、より安全な走行に対し、空間の有効幅員のさらなる拡大や自転車道の整備を求める声が多い。

# 自転車走行空間の整備形態のイメージ

## ① 自転車道

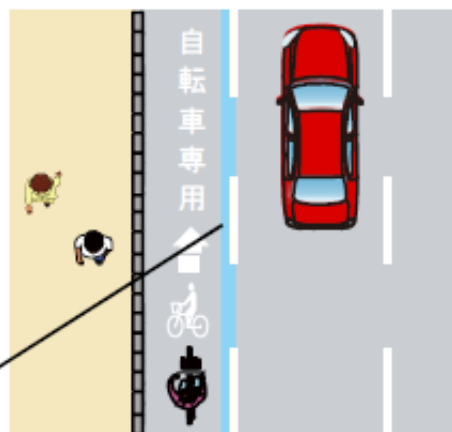
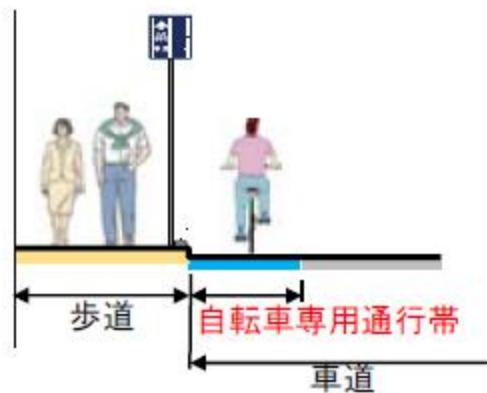
縁石等により、自転車と自動車を構造的に分離します。



(資料: 安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン)

## ② 自転車専用通行帯

通行帯のカラー化等により、自転車と自動車を視覚的に分離します。

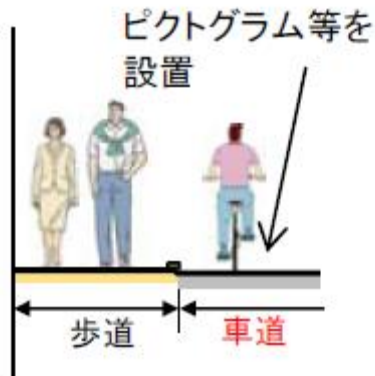


※ 自転車専用通行帯の幅の一部

(資料: 安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン)

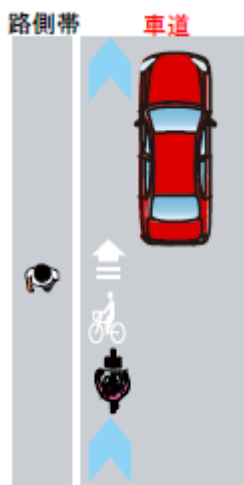
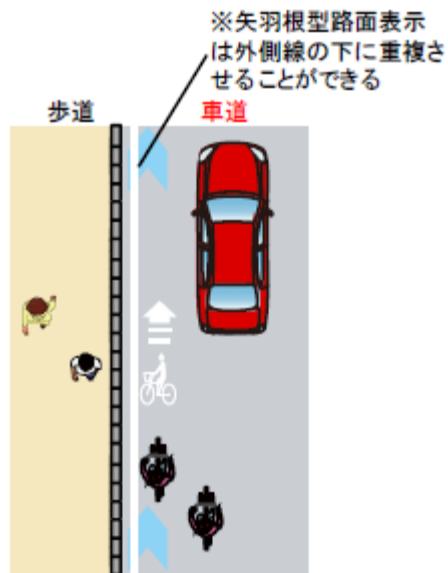
### ③ 車道混在

自転車と自動車が出合えば、ピクトグラム等により自転車通行位置を明示し、自動車に注意喚起を促します。



(1) 歩道のある道路における対策

(2) 歩道のない道路における対策



【矢羽根】



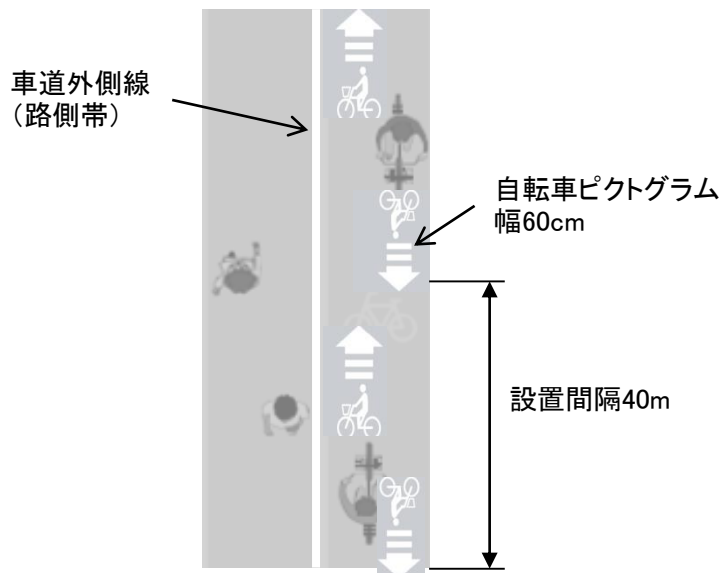
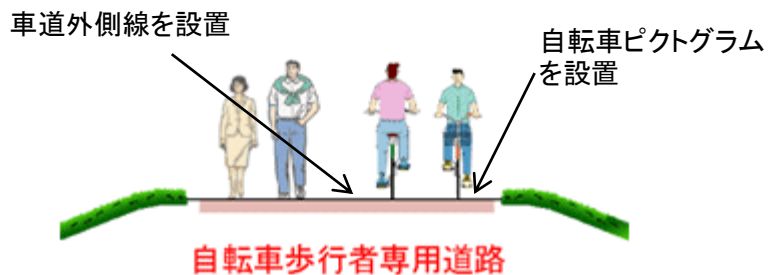
【ピクトグラム】

(資料: 安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン)

(その他)

## 自転車歩行者専用道路

歩行者・自転車の区分のため、車道外側線を設置し、自転車ピクトグラムを双方向に設置します。



# 主な路線の整備形態区分



## 主な路線の整備形態区分

番号	種別	路線名	都市計画道路名(愛称名)	整備形態		
				①自転車道	②自転車専用通行帯	③車道混在
①	市道、県道	港町繁本東筋線、新居浜角野線	新居浜駅港町線(楠中央通り)			○
②	国道	11号新居浜バイパス	新居浜バイパス線		○	
③	市道、県道	駅前滝の宮線、新居浜停車場線	駅前滝の宮線(滝の宮公園通り)		○	○
④	県道	新居浜港線	西町中村線(金子山通り)		○	○
⑤	県道	壬生川新居浜野田線	磯浦阿島線(平和通り)			○
⑥	県道	多喜浜泉川線	駅前郷線(城下通り)		○	
⑦	市道	庄内国領線	平形外山線		○	
⑧	県道	新居浜東港線	郷桧の端線		○	○
⑨	市道	下泉本郷線	下泉中村松木線		○	
⑩	市道	上部東西線	上部東西線(上部東西線)		○	
⑪	市道	新居浜駅菊本線	新居浜駅菊本線(球場・高専通り)		○	○
⑫	市道	磯浦中新田線	磯浦新田線			○
⑬	市道	原地庄内線	新田高木線(惣開通り)		○	○
⑭	市道	前田社宅東筋線	河内町港町線(図書館通り)		○	○
⑮	市道	駅裏角野線	駅裏中筋線(長田通り)			○
⑯	県道	新居浜角野線、新居浜別子山線	高木中筋線(楠中央通り、山根大通り)			○
⑰	市道	沢津東雲線	沢津桜木線			○
⑱	市道、県道	松の木東雲線、新居浜東港線	宇高西筋線			○
⑲	市道	新田松神子線	港町松神子線(昭和通り)			○
⑳	市道、県道	新居浜港田の上線、新居浜東港線	西原松神子線(敷島通り)			○
㉑	国道	11号	上泉萩生線			○
㉒	市道、県道	角野船木線、新居浜別子山線				○
㉓	市道	種子川筋線				○